

皆さん、おはようございます。

今年の夏も猛暑でしたが、皆さん、夏休み、元気に過ごされたでしょうか。日本の反対側にあるブラジルのリオデジャネイロでは、オリンピックの熱戦が繰り広げられました。

また、中国地方においては、「2016情熱疾走中国総体」や「全国総文祭」などが開催され、本校からも岡山県を代表して出場したり、運営スタッフとして頑張ってくれた生徒がたくさんいました。

また、中学校でも、全国大会に出場して頑張った生徒もいました。そのほかの生徒も、勉強や部活動など、それぞれの目標に向け、頑張ったことがたくさんあったと思います。

今日から2学期です。すでにお盆過ぎから、補習授業や特別授業、模擬試験などが始まっていますが、気持ちを切り替えて、新学期をスタートさせて下さい。

さて本日は、もう準備を進めていると思いますが、直前に迫ってきた「松柏祭」にしぼって、私が今、皆さんにお伝えしたいことを2つだけお話ししたいと思います。

1つ目は、松柏祭のテーマに関することです。

今年のテーマは、「WHY DON'T YOU GO」です。この「なぜ、行かないの、行こうよ」というテーマには、「新しい世界に勇気を持って飛び出していこう」というメッセージと、「中学生と高校生、そして、いろいろな小・中学校出身者がSOZANで「融合」し、より大きなパワーを発揮しよう」という、2つの意味が込められていると聞きました。

放課後、校内を回ってみると、このテーマどおり、生徒の皆さん一人一人がまさに一つに「融合」しながら、松柏祭の準備や練習に取り組んでいる光景を見ることができます。

松柏祭のブロックも組織の一つですが、組織の力は、メンバー一人一人がその個性や能力を自ら発揮するときに活性化し、それらが融合することで、組織としての力も、さらに個人としての力も一層強くなります。

松柏祭を通して、是非、「人とつながる力」を身に付けてください。

2つ目は、岡山操山の伝統についてです。

私は、松柏祭は、本校の伝統や文化を次の学年に引き継ぐ大切な行事だと思います。中学校・高校とも、下級生は上級生の背中を見ながら、操山生としてのあるべき姿を学び、それを自分たちが上級生になったとき下級生に伝えることで、操山の伝統が引き継がれていきます。

その伝統、操山生のあるべき姿とは、一女、二中から受け継がれている「和して流れず」、そして「松柏の精神」だと思います。

人と協調はするけれども、自分の信念を失って流されることはない。そして、雪の中にあっても緑の色をそのまま保っている松や「かし」のように、自分の志は固く守って変えない。

私は先生方から、松柏祭が終わってから、本校生徒の、勉強への切り替えの素早さには驚くべきものがあると聞いています。

この切り替えの秘訣は、松柏祭はみんなと一緒に完全燃焼するけれど、自分の高い志はどんな状況にあっても絶対に曲げない、という操山生に脈々と受け継がれている、内面の強さから来ていると思います。

この松柏祭が終わった頃、高校3年生の皆さんはセンター試験まであと4か月という時期を迎えます。

高校3年生の皆さんには、松柏祭での完全燃焼後、一人一人の力が「融合」した雰囲気さをさらに高め合いながら、それぞれの夢に向かって、内なる意志と、たゆまぬ努力と、自分を支えてくれている周囲の人たちへの感謝の気持ちを持って、大学入試を乗り越え、人生の大海原に漕ぎ出してくれることを期待しています。

最後に。松柏祭を通して、日々成長していく皆さんが、すごくまぶしいです。

学校を作るのも、自分の人生を切り拓くのも、生徒の皆さん一人一人です。松柏祭が、そして、これから始まる2学期が、今まで以上に素晴らしいものなるよう、共に力を合わせ、頑張っていきましょう。

以上で、式辞を終わります。